

第58回四国地区人権教育研究大会が、6月30日から7月1日にかけて「アステイトくしま」を主会場に開催されました。

「阿波のでこまわし」は、初日の特別部会において芝原生活文化研究所・阿波木偶箱廻し（あわでこまわし）を復活する会の辻本絵蘭さんたちにより、講演の合間に披露されました。

さて「阿波のでこまわし」と聞いて、年配の人には「ああ、そうであれか。知っている。」と思いきや、出してもらえないでしょうか。正月を過ぎた頃から家々を回り、門付け芸として種々の人形を操り、無病息災・家内安全・商売繁盛などを予祝していた徳島独自の郷土芸能です。

この伝統芸能は、いつ頃から見ることができなくなったのでしょうか。また、なぜ見ることができなくなったのでしょうか。

能文化を廃絶寸前に追い込んだのは、被差別部落に向けられた社会の偏見でした。

「でこまわし」は、徳島県内の被差別部落で受け継がれてきたものであり、この芸能に携わること、被差別部落出身であることを明らかにするものでした。

同和教育の行われていなかった当時、社会の偏見は厳しく、差別を恐れた人々は幸せを届け、生きる勇気を与えてくれる素晴らしい伝統文化から離れていったのでした。

今回、芝原生活文化研究所・阿波木偶箱廻しを復活する会の皆さんの演じる「でこまわし」を鑑賞して、復活させようとする強い意志と技術習得の苦勞をしのぶと同時に、伝統文化の火は、差別や偏見にとらわれないと痛切に感じました。



ありがとうございます  
ございまして

次の方々からご厚志をいただきました。心からお礼申し上げます。  
(順不同 敬称略)

まごころ銀行へ

■個人

- 越智 賢（三津屋）
- 岡田ミツエ（壬生川）
- 杉田徹次（国安）
- 近藤恭正（高田）
- 古宅成美（新町）

■各種団体

- みずほ倶楽部
- 西部地域交流センター グラスアート教室
- (株)こっこー
- いしづち青年部
- うしろのしょうめんだくれ
- 歌謡同好会 北斗星

全国一斉  
「高齢者・障害者の人権あんしん相談」  
強化週間

日 時 9月5日(月)～11日(日)  
月～金曜日：8時30分～19時  
土・日曜日：10時～17時  
電話番号 0570-003-110  
※携帯電話可、一部IP電話は不可  
相談担当 人権擁護委員・法務局職員  
問合せ 松山地方法務局 TEL089-932-0888

図書が寄贈されました

7月13日に(株)クラレ西条事業所ふれあい募金会から市内小学校5校へ図書が寄贈されました。  
この寄贈は、次代を担う小学生に読書を通じて、豊かな情操を養ってほしいとの趣旨で、平成19年度から実施されています。  
今回で市内全ての小学校に「クラレ文庫」として寄贈されました。



遊具が寄贈されました

7月22日にパナソニックヘルスケア労働組合西条支部から西条市児童デイサービス「かがやき園」に遊具が寄贈されました。  
寄贈された遊具は、かがやき園での療育に利用させていただきます。  
心より感謝申し上げます。

